

365



001:まずは自己紹介

「な、これ何て読むの？」
クラス分けのプリントを指差し、隣の席から飛
最早慣れっこのになった質問にっ隣り微笑みな
「”わたぬき”。”四月一日”って書いて”わたぬき
「へ、そんな読み方するんだ。初見じゃ絶対読
答えを聞かせられるんだけど、こればっか底驚いた
うな顔を見せられるんだけど、こればっか何
ふふっとな小さく笑った。それとも見ていないか、隣
そんな私を見たか、それとも見ていないか、隣
ントを覗き込みながら。名前でも呼んでいい？」
「名字の読み方難しいから名前も読み方難しいよ
「え？……いいけど……名前も読み方難しいよ
「ん？あ、ほんとだ」
いまいち理由と結果が結びついていないようなし
に騙されるような形で、ついつい首を傾かせたり越
その間にも隣の男の子は机と机の隙間を乗り越
う名前を指差し、読み方を聞いて来る。答えた。
私も同じようにプリントを覗き込み、答えた。
「”ひのえ”だよ」
「俺、矢野亮介。よろしく、丙」
「うん、よろしくー」
瞬間、視線を上げれば、予想以上に近い矢野く
た唇が、近い。
「矢野、一、授業中に口説いてる暇あったら今のと
「今いいところだっただの邪魔すんなよ！！」
飛んで来た先生からの野次も注意に、矢野
まじい暴言を飛ばした。声や興味の視線を向けて来
クラスメイが笑い声や興味視線を向けて来
っ赤に染めていた。

- ・ 四月一日 わたぬき 丙 ひ 主の人公。名字も名前も読み辛
- ・ 矢野 や 亮 り 介 よ : う 丙 の 隣 の 席 。 恋愛命。

る…答首掛のにを囲ねたはばはつ
て…にでっりに瞳霧あいでん飛の立
し。問ん引周スないやでさクる目に敷
査ね質込にがり大きなじん日な」ん気屋緒俺は、すがに派
検んでき査俺か大れ、込一月？さき櫻一だ葉さすもて四と
髪も味靦検、誰々まにえ月ト前こ用日吐がとん言はさす
頭だ意を、やも元たう考四ハ目のでか一くん敷なた髪はら
。員う元できで。たよを、の、何る」がの。に四は日櫻不漏金の口染のち。いた
ら委い手色なにだ。いのかと、ハ目の。に四は日櫻不漏金の口染のち。いた
か紀との黒や理しる。かの何る」がの。に四は日櫻不漏金の口染のち。いた
だ風い俺だじ矢なぎたた、げんイ彼た、顔き月までか一！俺色っよなこ笑め
員んしくんう理ぱ過ったち上やメどげ一笑め四の何んト」て痛をを書こ子の
委く欲な含そ無っしまか立をちスれ逃になきもこ。さんウおうい悲と俺てに様ん
紀原てもを、り眩しなっ顔丙ラけてなうとでる日アお続とこるんとたく
風上っ暇艶てても。突た。ク。っにそに。？す一んやにっいめな俺っ原
、行すはっどいっ事にま」あのだ。走なけれいなも月くち鳴もじし前る困上
俺かに隠毛だの」らなま何の前も！…髪、る。蕩そなよ気四生い」悲、まき名すに、
、っ室はの。うんかれ止まの俺ん…金になる一のるやだいに琉書？？のて凄抱てた意程
おそ教ん髪いいうき見がま目てくつんくさよ敷来じとし次、前っ！敷っでをっ心不成
…、くさたしう、っが話の。のれ生？立さ近ずは屋で界こ寂も。い名えっ屋違顔一なた、一
…あ早日れ欲こうさ顔会こに俺ら琉ん目日も後お櫻ん世とでではにええ櫻は笑ダにあがあ
「一零て」「の釣」「一離」「込きっつ物」「ト」「とン気敷「

帰る。うと下駄箱の中から革靴を取り出して履き
 す。「野球部どうですか？」
 「野球部、海老原くん？」
 「おう、四月一日」
 校舎を出たすぐの場所で声を張り上げている海
 、「持ったいたプラカードをずっと見せ付けら
 した”新入部員大歓迎！”の文字に破顔。
 「あ、野球部の勧誘か。どう？ 部員集まり
 「まあ、結構ね。そっちはどうなの？」
 聞き返さね。たっ質問に、ぼちぼちだよ。一、と笑っ
 野球も我が剣道部長が現状に真面目にしてし
 っり、今年はなにしろ、と首を傾げる。野球部ともなれ
 る気は、それなりに、と、それらを傾げ、海老原く
 集まれば、かろうだ。？ だ、ただ、海老原くんも今
 の「選手は卒業するの？ じゃ、今、ウチマネ、一、が足
 せ、先輩海球部が意外内、はみなで、？ やっ多の
 一「で、最初、それ、ええ、か、程、を、結、構、ど、ん、く、さ、い、し、。、逆、に、海、老、原、く、ん、こ
 「裏、方、と、言、う、え、え、か、程、を、結、構、ど、ん、く、さ、い、し、。、逆、に、海、老、原、く、ん、こ
 「斜野、球、部、に、私、な、こ、と、思、う、よ、？ 選、手、を、癒、す、こ

か「ねも褒れ…た冗なこだち「脱「るれ「「部
ね…めて…あ」だよまラ…じゃを老、…己程得う
が…てしあ」だよまラ…じゃを老、…己程得う
聞…もま一」かうでリしやおめくし月張またす
い海何っ残念、かとれをがかう…ちん負一をす様か
て老もた念、かとれをがかう…ちん負一をす様か
ま原出。、こんな心言ちゃみい！でてこ言結り球をと
すくないよ？ことなら四月一日が剣道
」、持ち上げ過ぎ」ませながら
、よ？ことなら四月一日が剣道
こんなことなら四月一日が剣道
心底惜しいる。部のために何かし
。褒海、時りっ構し部領声を張
うち原す堂微笑に？とく海上
んぎくが々笑に？とく海上
、つんにとむ仕」個性派
まて、そしたそなく
だくプこたそなく
時れラま態しく
間た力で度てプ
は海一はか海ラ
大老ドーら老カ
丈原貸一原一
道隣で

- ・ 四月一日 わたぬ 丙き : ひ剣の道部 マ ネージャー。どんくらしい。
- ・ 海老原 えび は : ら丙のクラスメイト。野球部。

「先輩って野球部のマネさんなんすかー？」
「えーだっただと俺の野球部に入っちゃおうかなー」
「…ええと…」
「わらわらと集まっただけで来た一年生男子集団に、何れと
。そりゃそうだ。意味で海老原くんは彼女、ウチの部
な。いから。ている。とは言え、普段とてつもなく優し
来。るもの。があ。携帯番号を聞いて来る男の子達をか
し。し付けた後。ひらひら手を振って去って行く後輩
見。脱力。隣から海老原くんの感心したような声が増えこ
「四月一日、マジモテモテ。お陰で…部員増えたそうは
「騙しちゃうもマネーでジャージを海老原くんに、え
高。い海の老奴らマネーを睨めば、海老原くんに、え
「今…私…の…すぐ辞めると言う…隣…」
「…の…すぐ辞めると言う…隣…」

・ 四月一日たぬ丙き : ひものえる。

・ 海老原は : ら優しい性格。でも野球部のためなら